

平成30年度第1回社会教育委員の会議

平成30年4月20日(金)

午前9時30分開会

開催日時	平成30年4月20日	開会 9時30分 閉会 10時50分	
場 所	小金井市役所 第二庁舎 8階 801会議室		
出席委員	議 長 小山田佳代 副 議 長 原田 隆司 委 員 石原 芳 委 員 首藤 由憲 委 員 石田 静子	委 員 城 瑞枝 委 員 長坂 寛 委 員 柴田彩千子 委 員 福井 高雄	
説明のため出席した者の職氏名	教育長 大熊 雅士 生涯学習部長 藤本 裕 オリンピック・パラリンピック兼 スポーツ振興担当課長 内田 雄介	図書館長 菊池 幸子 公民館長 西村 直邦	
事務局	生涯学習係長 小堀久美子 生涯学習係 佐藤 優子		
傍聴者人数	0名		

日程	議 題	
第 1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 会議録の承認について (2) 社会教育委員の会議の検討事項について (3) 第3次小金井市生涯学習推進計画の評価について (4) 平成30年度スポーツ関係団体への補助金交付について (5) 平成31年度関東甲信越静社会教育研究大会について (6) その他
第 2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度予算概要について (2) 社会教育関係団体の登録について (3) 小金井市の図書館の在り方について (答申) (4) 平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について (5) その他

小山田議長 それでは、定刻となりましたので、平成30年度第1回社会教育委員の会議を始めたいと思います。本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

 まずは教育委員会のほうから人事異動があったということを知っておりますので、生涯学習部長からご紹介をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

藤本生涯学習部長 おはようございます。4月1日付で前任の西田より私、生涯学習部長になりました藤本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。前任は市民部長ということで、経済課やコミュニティ文化課、あとは市民課、いわゆる産業や商業、観光も分担しておりました。今後どうぞよろしくお願いいたします。

 それでは、まずは教育長もかわったんですが、今、別の会議に入っていて、来られ次第またご紹介ということになりますけれども、前任の山本教育長が3月31日付で退任されて、4月1日付で大熊雅士教育長が就任されました。大熊教育長ももとは小金井市の教育委員会の指導主事ということで、平成14年まで小金井市に着任していたということです。

 それでは、続きまして生涯学習課長として、地域福祉課の関がかわりましたが、関のほうも別な事情によって今日、欠席になっております。生涯学習課長だった内田が今回、生涯学習部オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長兼生涯学習課スポーツ振興係長事務扱いとなりましたので、ご紹介をいたします。

 長い名前なんですけれども、もともと生涯学習課の生涯学習係、文化財係、スポーツ振興係という3つ持っていたんですが、その中でもって今度2020東京オリンピックもあと2年半あまりとなりまして、小金井市も参加都市の1市として、これからいろいろなものにチャレンジしていこうということで、担当課長となりましたので。

内田スポーツ振興担当課長 今まで3係持たせていただきまして、生涯学習係、文化財係、スポーツ振興係とかなり幅広かったものですから、スポーツだけに特化する形にはなりますけれども、社会教育という面でいえばスポーツも非常に重要な位置づけだと私も考えておりますので、今後とも皆様方によりしくお願いしたいと思っております。

 以上です。

藤本生涯学習部長 内田課長なんですけれども、もともと生涯学習課の担当者だったとい

うことで、関が後任になりますけれども、連携をとりながらやっていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、社会教育委員の会議の事務局でありました小佐野が保育課に異動となりまして、新しく佐藤が事務局として加わりますので、ご紹介いたします。佐藤さん、よろしくお願いいたします。

佐藤生涯学習係 おはようございます。新しく4月1日より着任しました佐藤と申します。不慣れでいろいろご迷惑をかけるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

藤本生涯学習部長 ありがとうございます。人事異動に関することは以上となります。お願いします。

小山田議長 では、教育長がいらっしゃり次第、ご挨拶をいただくということで、それでは会議のほうに移りたいと思います。本日、所委員が別の公務のためにご欠席ということで、柴田委員はちょっとおくれていらっしゃるということでございます。

それでは、最初に配付資料の説明を事務局からお願いします。

小堀生涯学習係長 おはようございます。本年度もよろしくお願いいたします。

では、配付資料の確認をさせていただきます。

まず、一番上が次第になります。めくっていただいて社会教育委員の会議会議録、平成29年度第8回。次に「第3次小金井市生涯学習推進計画評価資料」、こちらは2枚になります。次に、「平成30年度スポーツ関係団体への補助金交付額」。めくっていただいて、「平成31年度関東甲信越静社会教育研究大会について」、こちらも2枚セットになります。次に、「小金井市図書館の在り方について（答申）」。次に、平成30年度都市社連協定期総会の開催について。最後が平成30年度東京都社会教育委員の会議等日程表。ここからはおおむね委員のみの配付で、第27期小金井市スポーツ推進委員活動記録、一緒にとまっていると思うんですが、小金井市スポーツ推進委員協議会日より、地域と学校の協働を推進する方策について、図書館日より第45号、小金井月刊こうみんかん、2枚ありまして479と480。以上になります。

小山田議長 ありがとうございます。もし何か足りないものがありましたら事務局のほうにお申しつけください。

それでは、会議のほうに移ってまいりたいと思います。まず議題のほうのまず1番が、「会議録の承認について」ということで、こちらについては先ほどの1番、最初の資料です。こちらは2月19日の会議録になりますが、こちらのほうは既にメールとかでももらっていたと思うんですが、これでよろしいかどうかということで、何かございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

小山田議長 特に、何もないということであれば、2月19日の会議録はこれで承認させていただきます。

では、続きまして、「社会教育委員の会議の検討事項について」というところですが、小堀さんのほうで少し説明を。

小堀生涯学習係長 年度も改まりまして、前回の会議でもそういった話があったかもしれないんですけども、社会教育委員の会議の中でこれまでホームページのこと等、ずっと話し合っていたいて、その前は計画の策定等に携わっていたかと思うんですけども、ここでちょっとひと区切りではないですけども、したところで今後の検討を生涯学習、社会教育についていろいろ話し合っていくというところか、もしくはこういう方向で何か社会教育委員として話し合っていくって、期の終わりまでにある程度こういう話をしていきたいというところを改めて確認をしたいと思ひまして、議題にしています。

小山田議長 ありがとうございます。日がたっていて、また思い出していただくということになると思うんですけども、2月の最後の昨年度の会議でも今年度の視察について話とかもするので、今後の社会教育、小金井の社会教育のあり方ということをお話をしていこうみたいな話が出ていたかと思うんですけども、柴田委員がちょっと今いらっしやらないんですけども、勉強会とかもやれたらというお話も出たので、これについては柴田委員がいらっしやってからもう一度お話をするというので、ちょっと後にさせていただきます、先に。

原田委員 ちょっと質問いいですか。

小山田議長 はい。

原田委員　　すみません、事務局に質問ですが、この検討事項についてという項目になっているんですが、前年度、今年度の研修の内容として地域と学校の協働について、小金井スタイルを求めるというのをやりましょうということとで一致していると思うんですが、それ以外に検討するということですか。

小堀生涯学習係長　そうですね、内容もそうなんですけど、進め方とかも含めてどういう形で進んでいくか、ちょっと今日の会議に入るに当たって小委員会も開けなかったのですが、こういうことをやりましょうと決めた中でどうやって進めていくかというところもきちんと定まっていなかったこともあったので、もう一度ちょっと話し合いたいと。

原田委員　　確認をすると。

小堀生涯学習係長　そうですね。部長、課長等もかわったところもありましたので、改めて確認を含めてという意味合いでした。

原田委員　　年度が変わったので前の議論はご破算よという意味では、ちょっとあまりにも。継続して、ということですね。ありがとうございます。

小山田議長　　もう一度この件については柴田委員がいらっしゃってからお話をしたいと思いますので、先に3番の「第3次小金井市生涯学習推進計画の評価について」ということで、事務局から説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長　こちらは以前にお配りした第3次小金井市生涯学習推進計画の水色の冊子ですけれども、28年度からの計画になるので、昨年、初めてこの第3次になってからの評価を行いました。そのときにはどういう評価をしていくかというところで、全部の事業を評価しなくてもいいんじゃないかということで重点施策に絞って評価をしますということとさせてもらっています。本年度は第3次の計画の期間内なので評価の方法が変わるとかということではないんですけれども、その間、委員の改選がありましたので、ご説明をさせていただきます。

2枚の用紙の最初のところに第3次生涯学習推進計画重点プロジェクト評価方法とありますけれども、第3次小金井市生涯学習推進計画の後ろのほうには小金井市で実施している生涯学習施策が第4章として載っているんですけれども、この中に重点プロジェクトということで、こういうことを重点にやってみようということが載っております。

計画の評価については、そちらの重点プロジェクトを評価するという形で、評価の方法は現状、平成26年度が計画の指数のもとになりまして、平成32年度にどのような数値の目標を掲げるかということが書かれています。ページをめくっていただいた評価シート、ページで3ページ目のところに昨年のこれは例で1枚目だけなんですけれども、平成28年度を評価したものが入っています。今回平成29年度の評価をしますので、一番後ろのところに平成29年度の事業成果と評価がA、B、C、D、そして、進捗状況と今後の展開を記載するようになります。A、B、C、Dの評価をするにあたり考え方は複数あるかと思いますが、A、B、C、Dのつけ方については1ページ目にあるように、計画に沿って事業を進めて、32年度目標をもう既に達していますという場合はA評価、そして、32年度の目標には達していないけれども、26年度より数値が上がっているときはB評価、そして、26年度と数値がほぼ変わらないという場合はC評価、そして、26年度の数値よりも大幅に減少しているという場合はD評価になります。ただ、数値だけで見きわめ切れないところもあるんじゃないかというご意見を去年いただいているんですけれども、一応評価のA、B、C、Dについては数値だけで評価をさせていただき、その後のところにもしくは事業成果のところに文言で、文章としてこういうことを行っていると、数値にあらわれないこういうことを行っているということがあれば書いていただくということで、評価をしております。

評価方法が変わっていくといけないので、今年度、平成29年度の評価につきましても、この用紙を使って各担当部署に評価の依頼をし、取りまとめなどを委員の皆さんに検証していただくということになります。

以上です。

小山田議長 ありがとうございます。何かご質問はございますでしょうか。福井委員、お願いします。

福井委員 今、評価のする担当者というのはどの範囲までがこの生涯学習を評価する対象者になっていますか。

小堀生涯学習係長 今、お配りした2ページ目、1枚目の裏に評価の対象になる重点プロジェクトとその中の主な事業成果とありまして、最後に関係課とあるんですけれども、このプロジェクトの主な事業、成果にかかわる担当部署に評価をお願いするようになります。

福井委員 ということは、11項目あるんですけれども、例えば生涯学習課でまたがっている部署も当然あるんですけれども、対象者というのは失礼ですけれども、何人が対象で評価されているんですか。11人なのか、例えば生涯学習課のAさんが8、9、10、11にまたがって評価……。

内田スポーツ振興担当課長 各事業の担当者のほうでまず評価をさせていただきます、その上でそれが決裁として上のほうにずっと回ってきますので、結局ライン上でしっかり見ていただいて教育長まで回っていくという形になっています。

福井委員 わかりました。

石田委員 この11のプロジェクトのうちで戻ってきた資料が何ページぐらいになる予想でしたっけ、昨年の例で。資料が配布されて、その場でA、B、C、Dの評価をつけているのを見て、検討してその意見をくださいとその場で言われるとちょっときついものがあるので、そんなに30ページ、40ページになる可能性もありますけど、前もってメールで送っていただいたら時間があるときに見ないかもしれないですけれども。

小堀生涯学習係長 重点プロジェクト1事業につき1枚、1ページ、A4、1枚ですので何十枚という形ででき上がるものではないので、事前に、メール等でもお送りできる分量だと思います。

石田委員 そうしたら、いただきたいと思います。

小山田議長 まだ後半、年度の後半になるという、これからまだ評価していった。

小堀生涯学習係長 ここでご案内させていただいて、来月、再来月にはそれぞれの担当部署への投げかけをし、回答が集まったタイミングでとなるため、おそらく年度後半という話にはならないと思います。

石田委員 わかりました。

小山田議長 では、できれば事前に送っていただければということでもよろしくお願ひします。では、続きまして「平成30年度スポーツ関係団体への補助金交付について」ということで、こちら事務局からご説明をお願いいたしま

す。

内田スポーツ振興担当課長 お手元に配付させていただいております平成30年度スポーツ関係団体への補助金交付額という資料を見ていただきたいんですが、平成30年度スポーツ関係団体への補助金交付についてということでお願いしたいと思っております。

小金井市では、毎年度小金井市体育協会と総合地域型スポーツクラブである黄金井倶楽部の2団体に対して補助金を交付しています。それぞれの団体への補助金交付要綱に基づき交付しているものでありますが、団体の運営経費の一部を補助することで、スポーツ振興を図ることを目的としております。補助対象となるのは団体の管理運営に係る事務費、各種スポーツ事業の開催、運営に関する事業費となっております。各団体からの交付申請に係る書類を審査、精査させていただいた上で交付額を決定してございます。本補助金は毎年度行っているものなんですが、補助内容を変更する場合には補助金検討委員会による審査を行っています。各団体の交付金額は本日配付させていただいた資料のとおりとなっております。

なお、補助金を交付するに当たりまして、社会教育法第13条、社会教育関係団体に対し、補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ社会教育委員の会議の意見を聞いて行わなければならないとなっておりますので、本日、この場で皆様のご意見を聞かせていただくようお願いいたします。

以上です。

小山田議長 ありがとうございます。それでは、何かご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

福井委員 これはスポーツ関係団体の補助金ということで、前年比の平成29年、30年対比でいくとほぼスライドしたということになっているんですけども、例えば生涯学習部全体としてこのスポーツ関係団体の補助金以外に、優秀な学校、団体に補助金を出したということで上限20万で3月にもオーストラリアに野球部の団体に補助金を出している例もあるんですけども、例えばこういうスポーツ関係団体以外にも非常に補助金は生涯学習部として出されていると思うんですけども、例えばスポーツ関係団体で今後、そういう優秀な団体または個人に補助金というのは、これ以外にも出すことはなくて、あくまでもこの範囲内の金額で賄っていくのかとか、前回の20万との違い等を含めまして、ちょっとご説明いただきたいと思

います。

内田スポーツ振興担当課長 スポーツ振興担当です。前回の20万に関しましては、優秀な成績をおさめました、どこかに遠征に行くとかそういう団体に対しての交通費とかそういうところを援助するものという位置づけになっていまして、こちらの補助金はスポーツ団体に対して、何か補助をする。20万に関しては毎年決まってやるものではなくて、優秀な成績をおさめた年に、遠征するときにお支払いするものになりますので、そういった違いがございます。

今回、体協さんと黄金井倶楽部さんへの現在の補助金の使い道、使途について皆様にお諮りさせていただいているので、新たな補助金をということであれば、また別な討議になるかとは思いますが、この場では趣旨が異なりますので。

福井委員 わかりました。

小山田議長 どうぞ。

藤本生涯学習部長 すみません、議論の途中なんですけど、教育長がまいりますので、ご紹介だけさせていただきまして、また別の会議が入っていますので、ここで退席となりますけれども、教育長、すみません、お願いいたします。

大熊教育長 すみませんでした。今まで理事者会議が進行しておりまして出られませんでした。4月1日付で教育長に就任いたしました大熊と申します。今後ともよろしくお願ひしたいと思います。社会教育委員の皆様におかれましては、小金井市生涯学習推進計画の作成にも全面的にご協力いただき、また毎年度実施する本計画の検証にもご意見等をいただきありがとうございます。そのほかにも本市の社会教育、生涯学習の推進にご尽力いただき、ほんとうにありがとうございます。

今後、社会教育ということなんですけれども、人生100年時代と言われるCMも流れるようになり、一番の問題点は最近子供たちの問題で、孤立化という、子育てをしている親御さんたちが孤立していくことによって、不安を増幅させて、不安の中で子育てをすることによって、子供たちが学校に行ったときにとっても友達とかかわることが難しいという子も出てきております。若い世代、人生100年時代を迎えたときに、その人たちが豊かに生きるためにはやはり社会教育は何より大事という、今まで以上に大

事な時代になったのではないかと僕は認識しております。

そこでハーバード大学で長生きをする秘訣というので一番は何かといいますと、実は人とのかかわりを持った人が一番長生きをするという結果、75年の研究結果だと言われております。人生幸せに生きるためには人とかかわりを多く持つこと、このことも実は社会教育が大きくかかわっている内容ではないかと思うところであります。そうしてみますとこの社会教育の委員の皆さんには、本市の社会教育をもう一度、僕も確かめて調べているところですが、いち早く公民館活動が活発に行われ、公民館企画委員会の会議など、小金井市独自の市民参加制度の確立に現在の社会教育制度の地域活動の拠点として公民館が活用されているという、まさに他市に先駆けて、そのようなことを積極的にやっていたいただいていると私も受けとめさせていただきました。

また、図書館活動につきましてもさまざまな知識を吸収する場所、世代を問わず市民が利用できる場所として図書館が活用されておりますが、今の現状は市民のためになっているのかどうか、いま一度検討する必要があるかと思えます。さまざまな情勢を考えて、よりよい図書館のあり方も考えていかなければならないと思っております。後ほど図書館長からご説明もあるかと思えますが、小金井市図書館協議会からの小金井市図書館の在り方についての答申もいただきまして、また前年度には公民館の中長期計画の策定についても答申をいただいているところであります。今後本市の社会教育、生涯学習についてのさまざまな視点から皆様にご意見をいただいて、ほんとうに幸せの多い小金井になってほしいなと思っております。

また、それだけではなくて総合体育館や栗山公園健康センター等のスポーツ施設、林間学校や一般の方が宿泊できる清里山荘、僕もよく行ったことがあるんですけども、施設の老朽化に伴う修繕や改修等の課題もあることは認識しております。今後、社会教育の皆様方には本市の社会教育、生涯学習のあり方について、その他の課題についてのご意見をご検討いただくことはあるかと思えますが、本市の社会教育、この生涯学習、それは市民一人一人のほんとうの幸せを追求するための最も重要な役割と認識していただき、会議を進行していただきたいと思えます。僕は就任に当たりまして、お金のないことは僕も重々承知しています。昔、指導主事をやっております、「子どもを見守る家」をつくった張本人でございます。そんな人間でございます、この地域のことも少しは知っている。お金のないこともよく知っている。だけれども、その手があったか小金井と言われるようなうらやましがられるような施策をぜひ皆様方の総意を結集していただき、新しい政策をつくっていただければと、そんなふうに思ってい

るところです。どうかよろしく願いいたします。

小山田議長 ありがとうございます。

大熊教育長 すみません、またもう1つ会議があるので、またこの様子は聞かせていただきまして、でもこれはほんとうに僕は大事だと思っておりますので、よろしく願いいたします。すみません。

小山田議長 ありがとうございます。ということで教育長のお話を伺いました。柴田委員も今いらっしゃいました。では、先ほどのものがまだ続きということで、もう一度、平成30年度スポーツ関係団体補助金交付についてということで、引き続きご質問等がありましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

私のほうから1つ、1番の体育協会のほうの事務費補助が増減ということで、29年度より30年度が人件費補助が減っているんですけども、これは何か理由というのはあるのでしょうか。

内田スポーツ振興担当課長 スポーツ振興担当です。職員の方がお一人産休に入られた関係で、増減が発生しているということです。

小山田議長 わかりました。それは入られて、補填でどなたかが入るということではなくということになるんですか。

福井委員 福井です。もう1点、このスポーツ関係団体の補助金の本年度の数字は先ほど確認したように、横並びなんですけれども、例えば2020年度に対する東京オリンピック開催に対してほかの地方自治体ではある程度予算組みを新たにして、プラスした格好で補助金または政策的な事業として取り扱っていく方向性もあるんじゃないかと思うんですけども、例えば小金井市体育協会ではその次年度、本年度は横滑りの数字になっているんですけども、例えば30年度でもこういうことをプラスして要求したいという位置づけとか申し入れとか予算組みの前の段階ではあったかどうかということもお聞きしたいと思うんですけども、いかがですか。

内田スポーツ振興担当課長 スポーツ振興担当です。予算組みに対しては体育協会のほうから申請に当たっての内訳ですとかそういうのも来ておまして、それを査定というかちゃんと見せていただいているんですけども、今年

度に関しては体育協会さんは70周年というところもありまして、補助金というよりむしろそちらのほうでということであったので、オリパラという関係では少し位置づけはそれほど重点的なところでという申請はなかったもので、そういう認識でおります。そういったことからスライドしているようになっております。

藤本生涯学習部長 私のほうから、生涯学習部長です。これはあくまで体育協会、あと黄金井倶楽部への補助金という形になりますので、各30年度も市制60周年にちなむ事業だとかもいろいろございます、冠事業だとかもございませけれども、そちらはそちらで各事業ごとの委託事業というような名目になっていたりということになりますので、ほぼオリンピックにつきましても、必要であれば補正で組んだり、東京都から補助金が入ってくるということもございませるので、それはそれでまた別として組んでいくという考え方になります。これはあくまでも1年を通した体育協会、黄金井倶楽部への補助という形になりますので、それ以外のものはもちろんそれ以外にもあるとご認識いただきたいと思ひます。

以上です。

福井委員 わかりました。

小山田議長 ほかに。石田委員。

石田委員 先ほど福井さんのお尋ねで、ほかの団体にもこういう補助金みたいなものは市が出しているのかというお尋ねがありました。交付金として科学の祭典に50万円いただいております。そして、今年のスロプチミストの事業で生涯学習と連携した60周年の冠事業を許可していただいておりますので、12月に市内の小中学校の音楽祭、発表会を交流センターでやる予定で、冠事業としての許可をいただいております。そんなところに別にいただいております。私の知っているだけです。

小山田議長 ありがとうございます。ほかに何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

首藤委員 首藤です。交付金についてはこういう団体、私も体育協会から来てますから、体育協会と黄金井倶楽部、先ほど何かほかにもあるとおっしゃっていましたが、その区分けみたいなものはここで承認を得る団体と、そうで

はない団体の区分けみたいなものはどういうふうになっているんですか。

小堀生涯学習係長　今回承認を受けるものについて、あと来月申請があればこちらでもご案内するものがあるんですけども、社会教育法の先ほども説明があったんですけども、第13条で、「国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が審議会等政令で定めるもの、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない」ということになっておりまして、社会教育関係団体にあつて補助金を交付しようとする場合ということなので、今回もスポーツ関係団体に対する補助金、そして来月予定されている社会教育関係団体に対しての補助金、あとはこの間ありました全国大会等に出る団体への補助金等については、皆さんのご意見を聞いております。

藤本生涯学習部長　私のほうから。今回のものが社会教育委員さんの意見を聞かなければならないものとして社会教育団体と体育協会とか黄金井倶楽部があるんですけども、先ほど福井さんが言われた遠征費用だとかは、例えば小金井の部活動で全国大会に出ました。急に言っても予算がないわけです。そういうのは全国大会補助金という形で市が持っていますので、その他の補助金になりますので、その都度、ものによって団体も違いますし、いろいろな状況がありますので、その都度、補助金の額だとか遠征費用を出す、出さないというところも教育委員会、また市のほうで決定していくということとなります。あくまでこれは当初の予算の審議でもってのせられるところの承認ということになります。

小山田議長　いかがでしょうか、ほかにご意見等ございますか。じゃあ、ないようでしたら、一応こちらの委員会で承認をしたということにいたします。ありがとうございます。

それでは、続きまして「平成31年度関東甲信越静社会教育研究大会について」ということで、こちら事務局からご説明をお願いします。

小堀生涯学習係長　「平成31年度関東甲信越静社会教育研究大会の開催に向けた事例発表または話題提供に関する希望調査について（依頼）」という通知が来ております。こちらは今年度ではなく来年度、平成31年度に開催される大会が埼玉大会になりますが、1枚めくっていただいたページで3ページ目に分科会における事例発表・話題提供の希望調査というのが来ております。

そちらは上から4行目のところで、次のことについて回答をお願いしますとあるんですけれども、なお、設問2については各市町村において1つ以上の情報提供をお願いしますということが書いてあります。設問2は埼玉大会の事例発表についてということで、分科会の名前が5つ入っております。このことについて特に話し合いたいこと、その他ということで調査において1つ以上の情報提供をお願いしますという調査が来ておりますので、今回議題にさせていただいております。ただ、こちらは今日初めてお配りしたのもありますし、提出の期限が30年10月31日となっておりますので、今日この場で話し合ってくださいか、一旦持ち帰っていただいでご検討いただいで、次回以降の会議で話し合ってくださいかということをお願いしたいと思います。

以上です。

小山田議長 わかりました。来年度ということで、31年度の11月7日に開催されるということについてなんですけれども、今日は一応見ていただいたということなので、一度持ち帰っていただいでまたご意見等考えておいていただいで、次回とかで、10月に提出でまだ時間はあるので、日を改めて意見をいただけたらと思うんですが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

小山田議長 では、じっくり見ていただいでご意見をいただけたらと思います。

原田委員 この資料の3ページ目の一番下を見ますと、都県単位での取りまとめの必要はないと書いてあるんですが、市区町村単位で取りまとめるという意味ですか。

小堀生涯学習係長 そうですね、今回に関してはもう直接でいいということなので、小金井市で話し合った内容を東京都を経ないで、直接回答してよいということでした。

原田委員 各委員がばらばらに答える必要はないと。

小堀生涯学習係長 そういうことです。市として取りまとめて回答します。

小山田議長 宿題で考えておいていただければと思います。お願いいたします。

では、柴田委員がいらっしゃいましたので、実は2番の「社会教育委員の会議の検討事項について」、柴田委員がいらっしゃってからのということで、先に議題を話していただきましたので、ちょっと戻りまして、社会教育委員の会議の検討事項についてということで、もう一度話をしていきたいと思いません。

先ほどちょっと小堀さんのほうからご説明があったんですけども、昨年度の継続ということで一応視察等ではいろいろな小学校のほうに行こうというようなことにはなっているんですけども、昨年度もこれからの小金井としての社会教育のあり方ということで、いろいろ協議をしてもらえたらというお話が出ていたということもあり、先ほどの教育長のご挨拶にもございましたとおり、ちょっと小金井スタイルというか、社会教育のあり方についてちょうど変わっていく時期なので、もう一度話し合っていたらというようなことでこの2番の議題にありまして、昨年度も視察に行く前にでも、柴田委員のほうでご専門で研究されていらっしゃるので、ちょっと勉強会のようなこともやれたらいいんじゃないかというご意見もありましたので、そこも含めて、今年度はこの検討事項についてどういふうに進めていくかを少しご意見をいただけたらと思います。

じゃあ、もしフリーで何かご意見がありましたら。長坂さん。

長坂委員 長坂です。発言の機会をいただきましたので、ちょっとお願いというか、考え方を申し上げたいと思います。よろしいですか。

小山田議長 どうぞ。

長坂委員 私は、過日、今日の会議に先立って事務局に今日の会議の席上にて新任の教育長、部長、課長から形式的な就任の挨拶ではなく、生涯学習の考え方及び抱負などを各15分ほどお話ししてもらおうよう、社会教育委員会の議長の了解を得て進めていただきたいと委員の1人として希望しております。つきましては、お手数ながら委員会議長にその旨をお伝えいただき、実行できますよう取り運んでいただければ幸いですと、こういうお願いをいたしました。その結果、こういう形で今、発言の機会を設けていただいたわけです。

その理由は、ご承知のとおり先ほど教育長はじめ部長からいろいろご挨拶いただきましたけれども、この私どもの委員会から見て、教育委員会関係のトップ3人の方が一度にかわるということは異常な事態であり、普通の人事としては考えられないことです。なぜかという継続性ということ

を重んじる場合、その辺がどうなっているんだろうと。一体我々委員としてどういうふうなスタンスで立ち向かえばいいんだろうかと非常に戸惑っているわけです。

それぞれ見識のある方々が役職につくわけでしょうけれども、普通の定期人事異動ではご承知のとおりある程度継続性がありますから考えられないことであるといってもよいことです。何か大きな改革をする場合、人事の総入れかえということもあるわけですがけれども、それに近いんじゃないかということすら疑って考えてみたいくらいなものです。

果たして市長の考え方と今までの方、あるいはこれからおつきなる方々の考え方がどこにあるんだろうかと非常に疑問であります。

ということは、今日もそうなんですけれども、議事事項を見ても決してこのメンバーがきちんと1時間半、2時間かけて審議するものというのはほとんどないと思われます。報告事項が多いため、我々委員はどこにアイデアを入れたらいいのか非常に戸惑っているわけであります。

ですから、私などは特に積極的にいろいろ協力したい、よりいいものをつくっていきたいと思っておりますけれども、トップの人がこのようにかわるから一体どうなっているんだろうという疑問をもたざるを得ないので。したがって、よりよい運営をするためには年度の初めでもありますから、ぜひ上の方にきちんとした考え方、通り一遍の挨拶ではなくて、いわゆる生涯学習というものをどのように考えているかを伺いたい。貴重な時間を使ってぜひ教育長、部長、課長の方々の生涯学習についての真摯な考え方をお聞かせ願いたい。

そうすれば我々は非常に活躍しやすいし、また力を出しやすいと、考えております。

小山田議長

ありがとうございます。ということでございますが、今、ご発言いただきました。今後の社会教育委員の会議のあり方ということにもかかわってくることはあると思っておりますけれども、どうしますか、どうぞ。

原田委員

今、長坂先生のお話が出て、私も最初にこの議題を見たときに同じ思いを持ったんですね。第1番目に社会教育委員の会議の検討事項について。これは何だろうと全く新しい項目になっている。今までの議論をなしにして新たなことを始めるのかなと思ひまして、先ほど質問したらそうではないということだったので安心しました。

それで、こういう組織には人事異動はつきものです。私も会社員をやっていたので気がついたら上が全部かわっちゃったという経験をしてい

ますが、仕事をしていく上では継続性が大事だと思います。そういう意味で先ほどの教育長のお話を非常に注目してお聞きしたんですが、大変大事なことをおっしゃっていたと思います。若い世代とシニアの世代、一緒になって力を合わせて豊かな生き方を探っていく。それが社会教育の役割であり目的であるとおっしゃった。

それは私自身としては全く同感でありまして、前年度議論した地域学校協働の小金井スタイルを求めて検討しようではないか、現場も見に行こうではないかというのは、まさに先ほどの教育長が触れられた社会教育の目的に一致するものだと私は思いました、私個人の思いですけれども、そういう意味で長坂先生のご発言はごもっともだと思うんですが、決して継続性を無視して進められているということではなく、これまで我々が議論してきたことを今後も前年度の成果を踏まえてやっていけばよろしいんじゃないかと思いました。いかがでしょうか、皆さん。

石田委員 石田です。来月に三者懇談会がありますので、そのときに図書館も公民館も社会教育委員もみんな集まるので、図書館や社会教育委員も公民館も皆さん戸惑っている部分があると思いますので、お話しいただいたら、まだ1カ月あるので時間調整はできるだけつけたら無理かな、できるかなという感じはいたしますが、いかがでしょうか。要請して。

小山田議長 それは上の方々のご意見をいただきたいというような要請をするということですね。忙しくていらっしゃらなくても何か書面とかでもというようなことも含めてということで、小金井の社会教育のあり方、もう少し今日のご挨拶を膨らませたようなメッセージをいただけたらという、今、石田委員から三者懇談会でどうかというご意見が出ましたけれども、いかがでしょうか。部長、目が合ってしまったんですけれども、お話しできる範囲でもしご意見があれば。

藤本生涯学習部長 私ども挨拶のときに市の考え方をお示しできればいいんですけれども、決して委員が言われたように大改革をすとかということではなくて、あくまで継続というところがございます。私も前任の西田からしっかり今までのことは引き継いでやっていくのも当然ですし、教育長も同じです。また、内田のほうも今回、特にオリンピック・パラリンピックを推進していくという形でもって、同じ生涯学習部の中で課長が1人増えたという位置づけになりますので、決して社会教育を何かないがしろにしているだとか改革をすとかということじゃなくて、今までと同じような形で委員さん

う国の政策ということも加味しながら小金井市の教育行政などを含めて教育委員会のあり方もあるし、社会教育委員会の我々の会の中でもそういう国の政策に従って、そういう方向性に近づけようとか、そういう方向性も今後、行政の窓口として生涯学習部長及び学校教育部長ということも話合った組織改革ということも考えていかなければいけないと思います。

ということで今後そういうことも加味しながらそういう方向性ということをお聞きしたいと思いますし、そういうお話は三者懇談会の中では具体的には聞けないと思います。そういう方向性にできましたら示していただきたいと思います。

以上です。

小山田議長 ありがとうございます。ちなみに文科省のほうは正式に変わるのは秋以降になるんだとか言っていますけど、実際はまだちょうど秋以降になるということで正式にはというか、動き出すのはということで私も前年度の方とはまだ今のままの体制にはいらっしやるみたいで、今、改革に向けて進めているというところみたいですが、では、ちょっとポイントも出てきたんですけども、生涯学習と学校教育の連携とかそういうあり方についてもご意見等がありましたらということで、何か社会教育委員会からということで、何かそういったことでコメントをいただければということをお願いいたします。

菊池図書館長 図書館長です。三者懇談会なんですけれども、今年事務局が図書館ということで、日程は後で事務局からお話があるかと思うんですけども、5月中旬を予定させていただいております。時期も時期でしたのでいろいろ中身については図書館のほうで今、考えていることがありまして、講師の方の手配とかもさせていただいておりますので、その三者懇談会の実際の中身の調整については、またちょっと事務局のほうと調整させていただきたいと思います。

小山田議長 わかりました。では、ご調整いただければと思います。それで教育長へのご依頼ということもあるんですけども、こちらの社会教育委員会のほうもこれからどうしていくかということになるんですが、ちょっとまだ小委員会が今年度に入って開いてはいないんですけども、昨年度小委員会のほうで今後、視察に行く学校等をもう少し絞って検討するという事になっておりまして、行けるのが7月10日ですかね、7月、8月、9月かそのあたり、夏休みに入るとまたどうかというところはあるんですけど

も、そのあたりに視察に行ければということで、ちょっとその前に先ほどの文科省の体制も変わるということですか、実際、地域が共同活動というのはどういったものかというお話をわかった上で視察に行ったほうが私どももよいのかということで、ちょっとその前にこの委員会前後の時間ではなくて少し最初に柴田委員からお話をいただいて、その後意見交換したりという会を設けられたらと思うんですけども、その中でまたいろいろ皆さんからご意見等も伺えたらと思うんですが、いかがでしょうか。次回だと5月の日程が入っていたと思うんですが、今回は5月の三者懇談会はこちらでいきますと17日になっていまして、社会教育委員の会議が5月21日となっておりますので、報告事項やその他の議題もあると思うんですけども、少し時間をいただいてそれについていかがでしょうか、よろしいでしょうか。柴田委員のほうもよろしいですか。一方的に。

柴田委員 5月21日に、私のほうから。

小山田議長 少し視察に向けて実際のコミュニティスクールですとか地域学校支援ということで、既にされているところに行くので、そういったものがどういったものなのかということも見に行く私どももわかっていて行ったほうが良いということもありまして。

柴田委員 わかりました。全国的な流れとかそういった基本的なところをご紹介しますればよろしいですか。

小山田議長 そうですね。

原田委員 その時期までに具体的にどこに行くかというのはある程度、案をつくっておかないといけないと思うんですが、小委員会をその間に開くということでよろしいですか。

小山田議長 私のほうからも東京都の生涯学習審議会のチームがある関係で、実はこの委員をやっております、この中間まとめをどういうふうに東京都としては考えていて、こういう方策をやっていたか少しお話し合いができるかとは思いますが、それも含めて今回最初にお話ができたらと思います。ということで先生のお話と意見交換を入れてもう1時間弱ぐらいで終われば。あとは後半の1時間でまたふだんの審議とかがあればというぐらいの流れでいきたいと思えます。

では、それまでに小委員会で行く視察先を決めるということで、それもあわせてご紹介いただいたりということもできればと思いますので。

柴田委員

よろしいですか。視察候補の件で前回の会議で話題に上がりました八王子の学校について、ちょっと聞いてみたんですけども、多摩ニュータウンのほうにある松木小学校、中学校、長池小学校と三者が協働でコミュニティスクールの学運協という学校運営協議会というところを運営しているところがあるんですが、そこが割と全国的に注目されたりしていますけれども、そちらにアクセスしてみましたらどうぞということでした、視察が。

ちなみに3月で退職されてしまったんですが、松木中学校の校長先生は、前にこの会議で私はそのとき委員ではなかったんですが、視察をした杉並区の向陽中学校のコミュニティスクールの校長先生だった。その先生が八王子のほうに異動されまして、そちらのほうでもコミュニティスクールを盛り上げたというような経緯もあります。住民の方たちがとても活発にさまざまな活動をしておりまして、社会教育的な側面から見ると地域のお祭りをコミュニティスクールの学運協が母体となって始めたということや、寺子屋事業のような学習支援の活動であるとか、さまざまな活動をやっております。

小山田議長

視察先につきましてはまた小委員会で最終決定はするというので、今、一応好感触であったということでありありがとうございました。

それでは、2番の検討事項については、そういうことでまた次回お話し合いもできたらと思いますので、また何か皆様の意見等がありましたら、考えておいていただけたらと思います。

では、議題でその他、何かございますか。

(「なし」の声あり)

小山田議長

特にないようでしたら、この後報告事項に入りたいと思います。

では、報告事項1番、「平成30年度の予算の概要について」ということで、事務局のほうからお願いいたします。

藤本生涯学習部長

生涯学習部長です。平成30年度の予算の概要について説明をいたします。平成30年度の予算の概要についてですけども、小金井市の教育費全般につきましては、約32億9,000万円の歳出となっております、前年度に比べて約4,000万円の減となっております。そのうち社会教育

費につきましては、約7億円となっており前年度に比べて約9,000万円の減。保健体育費につきましては約3億5,000万円となっておりまして、前年度に比べて約6,000万円の増となっております。社会教育費、保健体育費で見ますと前年よりも3,000万円の減ということになるんですけども、主な要因は昨年度は図書館で空調機の改修工事等を行っていた1億800万円が終了したというところもあります。そのほかにもさまざまな要素があると思います。

また、生涯学習部に係る主な事業についてですけれども、平成30年10月に小金井市が市制施行60周年を迎えることから、市制施行60周年に向けて取り組んできた新たな小金井市史編さん事業の集大成であります通史編の出版や小金井発展の大きな要因であり、また、市が誇れる史跡、玉川上水及び名勝小金井桜の美しい風景の古写真や絵はがきを印刷したカラーのクリアファイルの販売、また図書館では平成2年から行っております定点撮影の写真を展示し、市内風景の移り変わりを振り返るなどの予算を計上しているところです。

また東京オリンピック・パラリンピック推進に要する経費として、青少年のための科学の祭典や市民まつりでの講演、イベントなど障害者スポーツ体験事業を通じて、東京オリンピック・パラリンピックへの機運醸成を図るための予算計上を行っているところです。

ほかにも図書館の維持管理に要する経費としまして、図書館本館の室内の壁等の改修工事や外壁等の調査を行う予算の計上や、総合体育館、栗山公園健康運動センターの計画的な修繕のための設計に係る予算やテニスコートのトイレの洋式化、シャワー設備の改修等に係る予算を計上しております。

以上が平成30年度の主な予算の概要ということになります。以上です。

小山田議長

ありがとうございます。質問等はよろしいでしょうか。

では、続きまして「社会教育関係団体の登録について」ということで、こちらも事務局のほうからお願いいたします。

小堀生涯学習係長 社会教育関係団体の登録についてご報告をさせていただきます。社会教育関係団体の登録について、平成30年3月1日から30日までの間で登録を受け付けました。平成30年2月1日現在に登録している団体については、登録案内通知を送付し、ほかにも市報2月15日号への掲載、生涯学習課、公民館各館、図書館本館、各分館、総合体育館で申請書の配布を行いました。その結果平成30年3月末で90団体から登録申請があり

ました。90団体のうちで新規で登録があった団体は1団体です。4月に入ってから更新の時期がずれてしまいましたということで、登録の申請がありまして、昨日現在で申請団体数が93団体になっております。中には団体の会員の方が高齢化になってきて、活動を続けられないので更新はしませんということでご報告があった団体もありました。

社会教育委員の皆様にもご協力いただきました活動内容PR用紙につきましては、44団体の方から提出していただいて、ちょっと見ていただければと思うんですけれども、こういったものを工夫を凝らして絵を描いていただいた団体もありまして、大変申しわけないんですけれども、今、年度当初で事務が進められない部分があります。まだホームページが完成していないんですけれども、現在作業中でありまして、なるべく早く完成させたいと思っております。

以上です。

小山田議長 ありがとうございます。今、こちら回しますけれども、何かいろいろイラストとか、いろいろ楽しいものもありますね。

原田委員 このPR用紙を設けたことについての何かプラスの反応はありましたか。結構、みんな一生懸命写真なんか張ったりして。

小堀生涯学習係長 そこは確認できていなかったんですけど、44団体というと半数ということで、私としては思ったより皆さんがちゃんと書いてきてくださったというところで、ぜひ見ていただきたいと思っています。

小山田議長 ちょっと見ていただいて。お忙しいと思うんですけれども、またホームページも進めていただけたらと思います。よろしく願いいたします。

それでは、続きまして「小金井市の図書館の在り方について（答申）」ということで、図書館長のほうからお願いいたします。

図書館長 図書館長です。お手元に答申の資料をお配りしてございます。平成28年10月24日付で図書館長から、小金井市図書館協議会に諮問いたしました小金井市の図書館の在り方について、30年3月29日に答申を受けましたので、ご報告をさせていただきます。

図書館ですが、市民ニーズに沿った図書館のあり方の検討は、第四次基本構想・後期基本計画において、図書館の主な取り組みとしてかかげられているところでございます。図書館サービスの指針となります小金井市立

図書館運営方針は、平成25年に全面改定しておりますが、そこに含まれなかった施設にかかわる部分などについては、別途時間をかけて検討すべき事項となっております。諮問では本市の図書館に必要な機能、施設規模、運営形態、そして中央図書館のあり方についてを中心に、ご協議をいただいたところです。

いただいた答申は先ほどの運営方針とも深く関係する部分もございますことから、そのつながりも重視しながら今後の本市の図書館の進むべき方向性をまずは中期的なところから示してまいりたいと考えてございます。図書館サービス向上を目指すとともに、公共施設等総合管理計画などとも調整を図りながら進めてまいりたいと考えてございます。

報告は以上です。

小山田議長 ありがとうございました。

石田委員 石田です。少し意見を言わせていただきます。それに伴ってこの会から図書館に出させていただいておりますので、一番最後のページで本館、ちょっと意見を言わせていただきます。中央図書館にも該当する部分にということで、会員の中ではやっぱり市の6構想ですか、それから図書館が外れてしまって、図書館の新設予定が全然つかない、見通しが無いということについては、委員の中でやはりもう少し具体的に市として図書館をどう考えているかということを知りたいねという意見も結構ありました。でも、そればかりを文章の中を書くわけにはいかないの、さらりとまとめていただいておりますが、やっぱり中央館としての新設、新しい図書館機能、そういうものを市として持っていきたいという希望が委員の中にはとても多かったです。それを伝えたいと思います。よろしゅうございますか、館長からは言えない意見だと思いますので。

小山田議長 ありがとうございます。何かご意見がありましたら、いただけたらと思います。

続きまして「平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について」ということで、こちら事務局からお願いいたします。

小堀生涯学習係長 平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会の開催について、こちらの会議がない間での出欠等の確認でしたので、メールでやりとりさせていただきまして、ご返事いただきありがとうございます。

5人の方が出席、5人の方が欠席ということで、委任状をお持ちの方、

もしくはここで書いていただける方は後で事務局のほうにお願いいたします。こちらの4月21日午後1時半からですので、午後1時10分にこちらのホールの受付付近にお集まりいただき、集まりましたら受付を行いますので、よろしくをお願いいたします。

以上です。

小山田議長 ありがとうございました。ということで4つ終わりましたけれども、その他で何かございますでしょうか。

小堀生涯学習係長 日程表の関係ですが、先ほど話がありました三者懇談会の日程が決まりまして、日程表の上から3つ目ですけれども、5月17日木曜日14時から16時、図書館本館集会室ということで、通知は後日となりますが、とりあえず日程についてはお知らせさせていただきます。よろしく申し上げます。

小山田議長 その他ですが、放課後子ども教室の運営委員会とか、運営委員会が入っているんですか。

石原委員 まだやっていなくて来週の24日に第1回目が行われる予定です。

小山田議長 また、行かれたらご報告をいただけたらと思います。
では、ほかに何かございますでしょうか。大丈夫でしょうか。

(「なし」の声あり)

小山田議長 それでは、ないようでしたら、本日の委員会のほうはこれで終了させていただきます。次回は5月21日が委員会で、その前に三者懇談会があるということで、明日行かれる方はまたよろしく申し上げます。
そういうことで、では、以上で本日は終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。